

二弁の紙はどうして白くないの？

「二弁（第二東京弁護士会）で使用している紙は白くありません。どうしてかご存知ですか？」

Q どうして白くないの？

A 二弁では「紙・印刷用紙購入指針」を定め、これに従った紙を使っているから。

Q 「紙・印刷用紙購入指針」ってなあに？

A 再生紙を基本とし、環境や人権に配慮した紙を購入するための指針。

Q 何故再生紙が基本なの？

A 世界の紙の使用量は増大していて、原料を再利用しないと森林がどんどん失われるから。

Q 森林が失われたらどうなるの？

A 森林は、光合成のためにCO₂を吸収する。その森林が失われると地球温暖化が加速される。森林が失われることによって、その森林と共生している人々の生活も破壊されるし、生息する生物の多様性も失われる。

Q 二弁の紙は再生紙だから白くないの？

A そう。ただし、再生紙でももっと白い紙もある。

Q じゃあ、もっと白い紙を使えばいいんじゃないの？

A 再生紙は、印刷して使われた紙を再利用するものだから、白くするためにはインクを除く薬品を使わなければならない。その工程で環境への悪影響が生ずる。悪影響を防ぐため余分なエネルギーも必要となる。だから、環境に配慮すると白くない紙の方が望ましい。

Q 再生紙って何回でも再生できるの？

A できない。再生するたびに紙の繊維が劣化するので、5～6回が限度といわれている。

Q じゃあ、新しい原料を使った紙（バージンパルプ）を使わざるを得ないんじゃないの？

A そう、新しい紙原料を使わざるを得ない。だから、森林の再生能力を超える量の紙を使わないよう、使用量を抑えなければいけない。

Q 再生紙と新しい原料を使った紙（バージンパルプ）と値段はどちらか安いなの？

A 一般的にバージンパルプの方が安い。

Q なんだかんだといっても消費者としては安い方がいいんじゃないの？

A 安いにはそれなりの理由がある。だから気をつけなければいけない。

二弁フロンティアの紙をもっと安い紙に変えたらどうか？という提案が印刷会社からなされたことがある。しかし、その紙は、インドネシアで森林破壊に荷担していると非難されている製紙会社のものだった。これは良くないということでその提案は否定された。これをきっかけに会として「紙・印刷用紙購入指針」をつくった。<http://niben.jp/info/news20110224.html>

Q 「紙・印刷用紙購入指針」には、「持続可能な森林経営」って書かれているけど、消費者には解らないんじゃないの？

A 解る仕組みがある。それが森林認証制度で、製品に認証マークが付くから消費者にも解る。ただ、森林認証にも種々のものがある。その中の1つF S C (Forest Stewardship Council 森林管理協議会)が信頼できる森林認証と環境保護団体から評価されている。<http://www.wwf.or.jp/activities/nature/cat1219/fsc/>